

万国津梁会議の進め方、スケジュールについて

1. 万国津梁会議について
2. 本会議の進め方とスケジュールについて

特命推進課
令和3年9月8日

1. 万国津梁会議について

①設置目的（万国津梁会議設置要綱 第1条より）

沖縄21世紀ビジョンにおける5つの将来像を実現し、「新時代沖縄」を構築するためには、更なる政策の推進を図る必要があることから、各分野の有識者等から意見を聴くため「万国津梁会議」を設置する。

【参考：沖縄21世紀ビジョンにおける5つの将来像】

- ◆ 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
- ◆ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
- ◆ 希望と活力にあふれる豊かな島
- ◆ 世界に開かれた交流と共生の島
- ◆ 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

②万国津梁会議の所掌事務（万国津梁会議設置要綱 第2条より）

- (1) 人権・平和に関すること
- (2) 情報・ネットワーク・行政に関すること
- (3) 経済・財政に関すること
- (4) 人財育成・教育・福祉・女性に関すること
- (5) 自然・文化、スポーツに関すること

1. 万国津梁会議について

③令和3年度 万国津梁会議のテーマ

テーマ(継続or新規)	分野(設置要綱 第2条)	担当課
多様な人材育成 (継続)	(4) 人財育成・教育・福祉・女性に関すること	企画調整課
稼ぐ力 (継続)	(3) 経済・財政に関すること	マーケティング戦略推進課
海外ネットワーク (継続)	(2) 情報・ネットワーク・行政に関すること	交流推進課
プラスチック問題 (新規)	(5) 自然・文化、スポーツに関すること	環境整備課
琉球文化ルネサンス (新規)	(5) 自然・文化、スポーツに関すること	特命推進課

1. 万国津梁会議について

④ 本テーマの概要について

- 令和2年度の「首里城復興基本計画に関する有識者懇談会（琉球文化継承・振興検討部会）」においては、主に首里城を中心とした琉球文化のルネサンスについて議論した。
- 来年（令和4年）は、本土復帰50年や新たな沖縄振興計画のスタートを迎えるなど、沖縄県にとって重要な節目の年となる。
⇒ 県内及び国内外において、琉球文化のルネサンスにつなげていく絶好の機会



県内各地の歴史や伝統文化などについて、幅広い視点からその可能性等について議論し、沖縄県としての一体的な取組につなげていく。

2. 本会議の進め方とスケジュールについて

期間：令和3年度～令和4年度

令和3年度

琉球文化（歴史、民俗文化、芸能、伝統工芸等）の現状や課題などを共有するとともに論点を整理し、中間報告書としてまとめる。

令和4年度

令和3年度の議論を踏まえ、論点ごとの課題解決に向けた取組等について議論し、提言書をまとめる。

※ 議論にあたっては、各委員の専門的な立場からテーマに沿った、既存の枠に捕らわれない意見を出していただく。

2. 本会議の進め方とスケジュールについて

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
琉球文化に関する情報収集・整理	琉球文化の特徴・ルーツの把握・整理(文献調査、とりまとめ)								
	現状の把握・整理(過年度調査の整理、ヒアリング、県民アンケート等)								
万国津梁会議			第1回		第2回			第3回	
課題の整理・とりまとめ			課題の整理		課題の整理			課題の整理	中間報告とりまとめ

No.	開催月	議論テーマ、検討事項(予定)
1	9月8日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 会議の趣旨及び年間スケジュールの説明 「琉球文化ルネサンス」の考え方について フリーディスカッション
2	11月上旬	<ul style="list-style-type: none"> 第1回会議の概要(まとめ)・論点整理 今後議論していくテーマの設定
3	1月末～2月上旬	<ul style="list-style-type: none"> 第2回会議の概要(まとめ)・論点整理 中間報告に向けた課題のとりまとめ
—	3月	<ul style="list-style-type: none"> 中間報告のとりまとめ

※会議スケジュール、検討事項などについては、議論していく内容に応じて変更する可能性があります。